

テレビから学んだ時代

商業教育局のクイズ・洋画・ニュースショー

木下浩一 著

テレビ朝日・毎日放送テレビ・読売テレビは、かつて教育テレビだった。本放送開始後ほどなく、強い批判にさらされていた1950年代の民放テレビ。新たに開局する教育テレビに課せられた課題とは何だったのか。番組づくりの“苦闘”を活写する。

◎本書の内容◎

序章 商業教育局と日本のテレビ放送

第一章 テレビにおける教育と教養

——番組種別という制約

- 1 放送制度からみた日本教育テレビ
- 2 番組種別をめぐる議論3 読み替えられた番組種別

第二章 外国テレビ映画で海外文化を学ぶ

- 1 テレビ草創期の映像翻訳
- 2 商業教育局による吹き替えの普及
- 3 外国人俳優と日本人声優の同一化
- 4 吹き替えにおいて何が重視されたのか

第三章 身近なニュースによる「社会教育」

——商業教育局が生んだニュースショー

- 1 民放テレビ独自の報道を目指して
- 2 ニュースショー誕生以前の試行
- 3 ニュースショーの誕生
- 4 ニュースショーから「ワイドショー」へ

第四章 大阪から東京へ——毎日放送テレビのクイズ番組

- 1 商業教育ネットワークの誕生
- 2 クイズ番組に消極的だった日本教育テレビ
- 3 商業教育ネットワークにおけるクイズ番組の意義

第五章 読売テレビにおける「社会教育」の叢生

——関西ローカルの独自性

- 1 商業教育局にとっての学校放送番組
- 2 主婦向け「社会教育」に見出した光明
- 3 関西ローカルから全国ネットへ

終章 商業教育局における「教育」と「教養」



木下浩一 (きのした こういち)

1967年、兵庫県生まれ。

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。京都大学博士（教育学）。


現在、帝京大学文学部社会学科講師。

専門は、メディア史・歴史社会学・ジャーナリズム論。

1990～2012年、朝日放送(株)番組プロデューサー・ディレクター、映像エンジニア。



受注用コード

| | | |
|---|-------|--|
| 『テレビから学んだ時代 —— 商業教育局のクイズ・洋画・ニュースショー』 木下浩一 著 定価 3,520円 (10%税込) 2021年10月刊行 四六判・上製/248頁 ISBN978-4-7907-1761-4 | | ご注文冊数 冊 |
| お名前 | お電話番号 | 書店印 |
| ご住所〒 | | |
|  世界思想社 | | 〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707 |